

自分のためより誰かのために 次代へと誘う燈火となれ)

題字 理事長 中田 康太



1年を振り返って

大きな不安と期待を胸に、歴史と伝統ある安来青年会議所の理事長を拝命してから早いもので1年が経ちました。2017年度を振り返ると、これまでの人生で味わったことの無い修練と感動、達成感を与えてくれる年となりました。

本年は「自分ためより誰かのために次代へと誘う燈火となれ」をスローガンとし、メンバー全員が誰かのために率先して行動した結果、我々JCIが誇り・愛着心という地域との「つながり」、思いやりという心の「つながり」、子どもたちへ託す想いという未来への「つながり」となる架け橋になれました。

それは昨年、我々JCIが創立50周年で地域の皆様に約束した安来ビジョンと創立以来より受け継がれる想いを形にすべく、今年の基本方針である、地域資源を活かした「まちづくり」、体験遊びを通じた「ゆめづくり」、人と人との魂を磨く「ひとづくり」、学び舎JCIでの「ともづくり」の4項目に対して、各委員長・室長が明確な目標を立て、地域に根差した運動を行うことができたことが要因として上げ

**2017年度
第51代理事長**

中田 康太
(有)中田建設 取締役会
2010年入会



からに他なりません。2018年度も引き続きメンバー全員で50周年の想い、そして2017年度全ての事業を通して味わった経験を活かし、更なる飛躍に努めます。そして我々の運動と活動が地域にとっても我々にとっても意義あるものにするために、妥協することなく地域そして子どもたちの未来に繋げていきます。

また本年は、従来のやり方を変えながら新しい安来JCIを模索する年でもありました。その結果、男女の区別、業種役職関係なく、仕事や家庭などの様々な事情にも柔軟に対応しながら楽しんで参加でき、やればやるほど成長に繋がる懐の深い団体となるためには、更なる改革が必要だと感じる1年になりました。安来に必要な団体として質量ともに存在感を高めるために保守と革新、両方を取り入れながら今後も挑戦していきます。

結びになりますが、2017年度多くの皆様に助けられ、支えられながら大きく成長させていただけたことに感謝するとともに、いつも応援をいただきておりますOB会員をはじめ関係各位すべての方々に心から御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。

られます。

奇しくも本年、創立以来
最小人数でスタートし、島
根ブロック協議会に会長を
輩出しているにも関わら
ず、大きな事業を数多く開
催できたことやメンバーの
モチベーションを高められ
たのも、50周年の経験と未
來への想いを昨年共有でき



「子どもたちの未来のために」

JCI 2017年度
青少年ゆめ創造委員会
委員長
古山 宏樹
三菱マヒンドラ農機株勤務
2016年入会

2017年度、青少年ゆめ創造委員会の委員長を務めさせていただきました。当委員会では4月、7月、10月の例会を担当し、遊びを取り入れた体験型事業を開催しました。

4月例会事業では、自分自身を主人公にした絵本を作成しました。自分を表現

するには恥ずかしいですが、自分を見つめ、自身を知ることは、他人の異なる考え方と出会うことで個人の考え方を深めることになります。参加者が真剣に自身に向かって思いを巡らすことができた事業だったと思います。

7月例会事業では、JCI縁日祭を開催しました。進学

自作の絵本を購入してもらいました。また、地元の企業や団体による出展があり、地域社会への貢献感を高めました。この事業は、青少年ゆめ創造委員会の活動として初めて実現したものです。



自身を主人公にした絵本を作成しました。自分を表現するには恥ずかしいですが、自分を見つめ、自身を知ることは、他人の異なる考え方と出会うことで個人の考え方を深めることになります。参加者が真剣に自身に向かって思いを巡らすことができた事業だったと思います。



7月例会事業では、JCI縁日祭を開催しました。進学自作の絵本を購入してもらいました。また、地元の企業や団体による出展があり、地域社会への貢献感を高めました。この事業は、青少年ゆめ創造委員会の活動として初めて実現したものです。



「やり続けることを忘れない」

今年、初めて委員長をさせて頂きました。中田理事長の所信のもと、「人」と「人」とで魂をみがく信頼と魅力あふれる人づくりを目指して、いかに切磋琢磨し、地域社会で活躍できるか考えやつてまいりました。そのため、まず新年例会や総会といった例会で「型」をしっかりと学び信頼を作っていくことを目指しました。そして、5月例会のコムニケーションスキルアップ事業で、自らがあらゆる視点を持ちツッコミとコミュニケーションを学ぶことで、少しでも切磋琢磨できる環境を安来JCの中に取り組めたのではないかと思つております。



JCI 2017年度
魅せる人財育成委員会
委員長
金山 栄達
(有)山陰UP販売 代表取締役
2010年入会



魅せる人財育成委員会

これはまだまだきつかけの途中段階に過ぎず、この1年だけで人財になりうる為の事業になっていたのかはまだまだ分かりません。しかし、ここで学んでいる姿を地域、会社、家族の人達はきっと見えていたと思います。この学び、スキルを忘れることなく自らやり続ける姿こそが「魅せる」ことであります。そしてやり続けるという行動は本当に難しく、だからこそできた時に周りから認められ必要とされる「人財」へとなっていくのではないかでしょうか。

新しく理事・委員長に選ばれてから1年、自分自身も含めて心の底から切磋琢磨できたかと言われば、正直物足りない部分があつたのではないかと思いま

す。こんな自分を支えて頂いた、理事長、専務、副委員長、そして委員会メンバーには改めて感謝いたします。1年間本当にありがとうございました。

3月には、昨年4月に認定された日本遺産「出雲の国たら風土記（鉄づくり千年が生んだ物語）」をテーマに事業を開催しました。

1町で構成されているということもあり、日本遺産に認定されたことを知っている人はいても、その内容を知つてはいる人はほとんどいませんでした。そこで地域の魅力と輝き続けるにはどうすれば良いのかを2市1町の担当者や市民とともに考える

機会とつくるとともに、日本遺産のストーリーをわかりやすくまとめた紙芝居「となりのタタラ」を作り、YouTubeを利用して広く発信しました。また9月には、安来市総合文化ホールアルテピアの開館記念事業としてOMOYARI音楽会を開催しました。安来市内の9つの保育施設の年長の子どもたちに、「手話」を通して、他人の立場になって考える心と思いを伝える事の難しさや大切さを考えてもらい、「思いやり」の心を醸成するとともに、保護者や地域の方々と一緒にになって「思いやり」の心を考えることができます。また、来場したすべての人が子どもたちの頑張っている姿に感動し、子どもたちの

姿を地域、会社、家族の人達はきっと見えていたと思いま

す。この学び、スキルを忘れることなく自らやり続ける姿こそが「魅せる」ことであります。

そしてやり続けるという行動は本当に難しく、だからこそできた時に周りから認められ必要とされる「人財」へとなっていくのではないかでしょうか。

3月には、昨年4月に認定された日本遺産「出雲の国たら風土記（鉄づくり千年が生んだ物語）」をテーマに事業を開催しました。

1町で構成されていることもあり、日本遺産に認定されたことを知っている人はいても、その内容を知つてはいる人はほとんどいませんでした。そこで地域の魅力と輝き続けるにはどうすれば良いのかを2市1町の担当者や市民とともに考える

機会とつくるとともに、日本遺産のストーリーをわかりやすくまとめた紙芝居「となりのタタラ」を作り、YouTubeを利用して広く発信しました。また9月には、安来市総合文化ホールアルテピアの開館記念事業としてOMOYARI音楽会を開催しました。安来市内の9つの保育施設の年長の子どもたちに、「手話」を通して、他人の立場になって考える心と思いを伝える事の難しさや大切さを考えてもらい、「思いやり」の心を醸成するとともに、保護者や地域の方々と一緒にになって「思いやり」の心を考えることができます。また、来場したすべての人が子どもたちの頑張っている姿に感動し、子どもたちの

「最高の仲間と共に」



JCI
2017年度会員委員長
木下 淳
（株）木下工務店 勤務
2013年入会



議所で一番学んだことであります。感謝を口にすることだけではなく、地域のために行動し続けることが青年会議所として求められていました。それには、50年間安来青年会議所を受け継いでこられた先輩に感謝し、地域のために行動に移し事業を実行することであるということです。当たり前かもしれません、これが青年会議所で一番学んだことです。当たり前

2010年に入会して以来、8年間安来青年会議所に在籍していました。この8年間は今までの人生の中で本当に濃い時間であり、かけがえのない時間になりました。多くの人の出会いや多くの経験をさせていただきました。その中でも、2016年創立50周年をむかえ、「受け継がれる思いを形に」のスローガンのもと、理事長としてたくさんの方々にお祝いをさせていただきました。このスローガンを達成するため、メンバー全員で議論し合い答えを導き出しました。それは、50年間安来青年会議所を受け継いでこられた先輩に感謝し、地域のために行動に移し事業を実行することであるということです。当たり前

が青年会議所として求められていました。それが青年会議所で一番学んだことです。

JCI
妹尾 匠
2010年入会
〈主な役職〉
2012年 専務理事
2013年 理事長
2015年 副理事長
2016年 理事長



いることがあります。これは今後の人生でも必ず役に立つことだと確信し、感謝を行動に移しています。

2012年に入会し、今年卒業を迎えることになりました。

5年間という在籍期間ではあります。その2つの委員長を務めさせてもらいました。

子どもたちがどうなつてほしいのかを考え計画し、それを実行します。

子どものために何が必要か、子どもたちがどうなつてほしいのかを考え計画し、それを実行します。

とても苦労しました。とても苦労しました。

今までの過程というのは自分にとって貴重な経験がありました。

また、沢山の人との出会い、繋がりができたのも今後の自分の人生において大きな財産となりました。

これからもここで経験を活かし頑張りたいと思います。

「ふれあい12月号」は左記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。
(順不同)

(一社)安来青年会議所へのお問い合わせ・ご質問・ご要望は

.....(一社)安来青年会議所事務局.....

TEL692-0014 安来市飯島町1240-3

TEL0854-22-3038 FAX0854-22-3293

対応時間:月曜日・水曜日・金曜日(9:00~16:00)

E-mail:yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp

http://yasugi-jc.com/

*広報誌「ふれあい」についてのご感想・ご要望もお待ちしております。

実行委員長
西村陽介

青年会議所が声をかけてボランティア、関係者の皆様集った安来市の若いメンバーでありがとうございました。

構成された月山富田城跡竹水鉄砲合戦GUNGUNSP

LASH実行委員会の実行委員長を務めさせてもらいました。

第1回目ということもあり不安を抱えながらのスタートでしたが、当日は参加チーム20組、100名の参加がありました。予選から決勝トーナメントまで、どの試合も白熱した戦いが繰り広げられ、参加した方々にも盛り上げていただき、楽しく、大きなケガもなく盛大に行うことができました。

また、イベントブースにも沢山の子供たちが訪れ楽しんでもらえたと思います。

また、準備から当日まで協力していただいたメンバー、

沢山の子供たちが訪れ楽しんでもらえたと思います。

準備から当日まで協力して



発行所	
一般社団法人 安来青年会議所	安来市飯島町1240-1-3
編集長 理事長 中田 康太	22-3038
編集員 金山 栄達	魅せる人財育成委員会
島根日産自動車株安来営業所	



GUNGUN SPLASH
ガングンスプラッシュ2017



GUNGUN SPLASH実行委員会